

JAPANESE:



Giant / Liv の自転車をトレーナーに正しく取り付けなかった場合、また、自転車に対応していないトレーナーを使用した場合、自転車に重大な損傷を引き起こす可能性があります。

互換性のないトレーナー、またはトレーナーの不適切な使用によって引き起こされた損傷は、品質保証の対象外です。

互換性のある適切なトレーナーを選ぶ際は、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

- 自転車をトレーナーに固定する際は、自転車のフレームではなく、後輪のハブ軸にしっかりと固定してください。
- ホイールのクイックリリース/スルーアクスルが、適切に固定されていることを常に確認してください。固定力の不足はトレーナーとフレーム、またはフォークに損傷を与える可能性があります。
- フレーム、フォーク、ハンドルバー、シートポストのどこにも、クランプ装置は取り付けないでください。
- 自転車に乗る前に、自転車をトレーナーに固定しているすべての取り付けポイントを再確認してください。自転車に損傷や摩耗、ガタつきがないことを確認してください。
- 専用クイックリリースなど、トレーナーに自転車を取り付けるための専用パーツ等が付属している場合、必ず専用パーツを使用し自転車をしっかりと固定してください。
- ご使用の WheelSystem のクイックリリースが軽量タイプの場合は、トレーナーにバイクを取り付ける際に、より重くて頑丈なタイプの使用をお勧めします。
- マウンテンバイクを使用する場合は、前後のサスペンション（リアショック、フォーク）をロックアウト位置に調整してください。完全にロックできないサスペンションを備えた自転車は、トレーナーでの使用には適していません。
- 屋内トレーニングは、屋外でのライディングよりも発汗量が増加します。フレームの表面やその他部品の錆付きを防ぐために、トレーニング後は必ずフレームから汗を拭き取ってください。



- トレーニング中は、負荷ユニット、クランク、チェーンリング、ブレーキローター、その他の回転部品や可動部品に手を近づけないでください。
- トレーナーに取り付けられた自転車は、例え使用していないときでも、小さなお子様の手の届かない場所に設置してください。